

現代の男女平等観が与える社会的影響

要約

本稿ではアンケート調査を通じて男女平等の世界観が人々のワークライフバランスの考え方や割り勘行動に与えるそれぞれの影響について分析した。研究仮説では男女平等の考えを強く持つほど男女問わず社会に出るべきだと考え、男女で会計を済ませる際に割り勘を好む傾向にあると考えた。単回帰分析の結果概ね研究仮説と整合的な結果を得ることができた。

キーワード： 世界観, 男女平等, ワークライフバランス, 割り勘

JEL Classification Number： 015, Z13

1. はじめに

「夫は外で働き、妻は家庭を守る」—これまで日本社会では当然とされてきた男女の役割における伝統的な考えが女性の社会進出を阻んできた。しかし、こういった考えがあまり変化しない一方で現実社会は大きく変わってきている。昨今の日本が抱える社会問題を通じて我々は男女平等に関して改めて考え直す機会が増えた。男女間には身体的特徴や考え方に違いがみられるためそれぞれに適切な仕事があるのは当然である。しかしその違いが

「女性は家庭にいるべきだ」という旧来的な考えを支持し、女性の社会進出に歯止めをかけているのであればそれは男女平等主義の誤解である。今回の研究は、この誤解を取り除いた上で男女平等主義の実際経済に与える影響を探るものである。研究に際していくつかの言葉の定義を説明する。まず「世界観」は大垣・田中(2014)の著書「行動経済学入門」より「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている、現実の性質に関する認識、感情、判断に関する、基礎的な仮定と枠組み」と定義する。次に「男女平等」とは何か定義したい。本稿では男女平等は「役割的平等」と「価値的平等」の二種類あると考えた。「役割的平等」とは簡潔に述べると、男女の違いを理解したうえでの平等である。対して「価値的平等」とは双方の違い無視し本質的に性として平等視するものであるとする。

本稿の目的は二つの経済行動 —1. 男女間の割り勘, 2. 結婚後の女性の仕事と育児— に関して上記の世界観にまつわる質問とともにアンケートを実施し、世界観がこういった有意性を示すのかを調べるものである。そのため我々は男女の役割的平等観及び価値的平等観の強さに比例して、「割り勘行動」及び「結婚後も女性は仕事と育児を両立して続け

るべきだという考え」を強く持つのではないかという研究仮説を立て研究を行った。そして研究結果をふまえた上で、今後我々はどのような社会を築いていくべきなのか、我々のワークライフバランスの理想と現実の溝を埋めるための対策を考えていきたい。

2. 研究方法

SNS 上 (Twitter, Facebook, Line) で我々が作成したアンケートを拡散した (アンケート内容は下記付録参照)。その結果 207 名の回答を得た。アンケート項目は、男女の平等主義の強弱及び理解度を測る質問 A~D (説明変数)、男女間の割り勘行動、女性の結婚後と仕事と育児に対する認識の質問 E~I (被説明変数)、最後に性別・年齢・結婚状態の質問、計 12 の設問からなる。それぞれの質問を点数化し回帰分析を行った。

Twitter は、個々のユーザーが「ツイート」と呼称される短文を投稿し、閲覧できるコミュニケーション・サービスである。リツイート (RT) と呼ばれるユーザーの投稿を再投稿することを利用した。この Twitter での調査法は萩原・福田・福田・水谷・大垣 (2010) の論文「住居に対する消費行動と虚栄心の関係性 ―首都圏における高層マンションを事例として―」での記述を参考にした。

Facebook は個人プロフィールの作成、他のユーザーをフレンドに追加、メッセージの交換、プロフィール更新時の自動通知の受信を行うことができる SNS であり、投稿した文章、写真等が友人のタイムライン (TL) に表示され、それを友人がシェアすることでアンケートの URL を拡散することができる。

Line はインストールされている携帯同士で通話やチャットが行えるアプリケーションでメッセージに反応したかどうか送信者側が把握することができる。そのため状況に応じてアンケートのリマインドが効率的に可能である。

分析方法はアンケート結果を Excel を用いて集計し、単回帰分析・重回帰分析を行った。¹

3. 研究結果

回帰分析の結果、有意水準 10% で有意であった結果をこちらで選び、以下表 1, 2 に記した。ここでは説明変数 (下記アンケートの A~D) 被説明変数 (同 E~I) についてそれぞれ単回帰、重回帰分析を行った。係数は符号が正のものが予想と整合的なものである。

¹ 現段階ではまだすべての項目に対して分析が行えていないため、先に行った重要だと思われる部分について述べる。

表 1：単回帰分析の結果（有意水準 0.01→※※※/ 0.05→※※ /0.1→※）

説明変数	被説明変数	係数	P-値	有意水準
平等基準の男女平等変数（質問 A）	平等基準の割り勘変数（質問 E）	0.2011	0.0371	※※
平等基準の男女価値変数（質問 B）	平等基準の割り勘変数（質問 E）	0.2141	0.0044	※※※
平等基準の男女平等変数（質問 A）	仕事重視変数（質問 F~H）	0.7697	1.42E-06	※※※
平等基準の男女価値変数（質問 B）	仕事重視変数（質問 F~H）	0.2119	0.0983	※
平等基準の男女平等変数（質問 A）	平等基準の育児割合変数（質問 I）	0.1522	0.2126	注 ²
平等基準の男女価値変数（質問 B）	平等基準の育児割合変数（質問 I）	0.3093	0.0011	※※※

表 2：重回帰分析の結果（有意水準 0.01→※※※ / 0.05→※※ /0.1→※）

説明変数	被説明変数	係数	P-値	有意水準
平等基準の男女平等変数（質問 A）	仕事重視変数（質問 F~H）	0.7616	1.98E-06	※※※
非混乱変数（質問 C）		0.3469	0.4945	
平等基準の男女平等変数（質問 A）	仕事重視変数（質問 F~H）	0.7300	5.14E-06	※※※
非混乱変数（質問 D）		-0.3629	0.0863	※
平等基準の男女価値変数（質問 B）	平等基準の育児割合変数（質問 I）	0.3027	0.0015	※※※
非混乱変数（質問 C）		0.2229	0.5699	
平等基準の男女価値変数（質問 B）	平等基準の育児割合変数（質問 I）	0.3062	0.0012	※※※
非混乱変数（質問 D）		-0.1814	0.2606	
平等基準の男女平等変数（質問 A）	平等基準の割り勘変数（質問 E）	0.1918	0.0494	※※
非混乱変数（質問 D）		-0.0852	0.5164	
平等基準の男女価値変数（質問 B）	平等基準の割り勘変数（質問 E）	0.2121	0.0053	※※※
非混乱変数（質問 C）		0.0675	0.8292	
平等基準の男女価値変数（質問 B）	平等基準の割り勘変数（質問 E）	0.2121	0.0048	※※※
非混乱変数（質問 D）		-0.1126	0.3815	

4. 考察

単回帰及び重回帰において役割においても価値においてもおおむね平等だと考える人間ほど割り勘にし、育児負担を夫婦で平等にし、女性が働くことを望む傾向にあることが言えた。

単回帰で興味深い結果となったのは、役割的平等を測る質問と夫婦間の育児の負担割合を測る質問では因果関係がみられなかったのに対し、価値的平等を測る質問と夫婦間の育児の負担割合を測る質問には深い因果関係がみられたことである。この 2 つの因果関係の違いについては今後の検討課題としていく。

また重回帰からは役割的平等や価値的平等を混乱している場合を考慮しようと考えたがほとんど因果関係がみられなかった。

² 有意性はなかったが興味深い結果だったので載せておく

5. 結論

結果と考察から、男女の役割的平等観の強さに比例して支払いは割り勘に近くなり結婚後も女性は仕事と育児を両立して続けるべきだという考えを強く持つ傾向があるのではないかという研究仮説は概ね正しいと言えた。

すなわちここから言えることは、男女の役割的平等の考えを浸透させることは女性の社会進出を促すことになり、価値的平等の考えを普及することは男性の育児参加の増加につながるため少子化解決の鍵となりうる。

また育児参加に対して理性的には男女で平等にすべきと考えていても男女の本質的な面ではどちらか一方に任せたいと考えている面があると考えられる。

しかし育児に対し割り勘ではそういった因果関係がみられなかったため女性は意識の上では経済的にほぼ自立していると考えられる。

今後はアンケート結果の分析をさらに進めることで世代間、男女間の差やそれぞれの因果関係を詳しく見ていきたい。

付録： アンケート内容

(A) 能力や経験において差のない男女2人がいるとします。この2人のどちらからリーダーを選ぶことを考えた時、あなたの考えに近いものを選んでください。【役割的平等変数】

- ① 男性がすべき…0点
- ② どちらかというとな性がした方がよい…1点
- ③ どちらともいえない…2点
- ④ どちらかというとな性がした方がよい…1点
- ⑤ 女性がすべき…0点

(B) 男女の価値について合計 10 の比率になるよう評価するとき[例]男3：女7], あなたの考えに最も近いものを選んでください。【価値的平等変数】

※男女の価値という漠然とした概念ですが直感でお答えください



(C) 『オリンピックにおいて男女ごとに競技を分けるのは男女差別であるから分けるべきではない』という考えについて、どう思いますか。【非混乱変数】

- ① 大いにそう思う…0点
- ② どちらかというとなそう思う…0点
- ③ どちらともいえない…1点
- ④ どちらかというとな思わない…1点

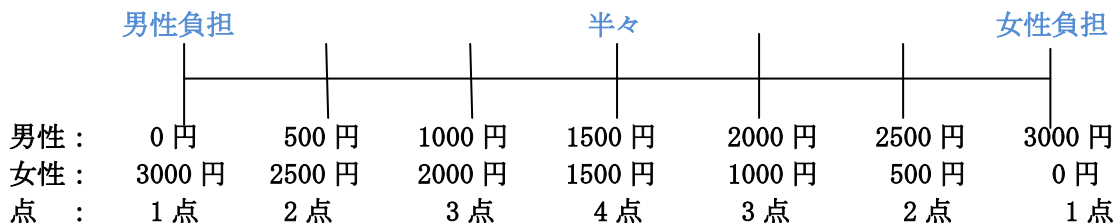
⑤全くそう思わない…1点

(D) 女性専用車両があるのだから、平等性の観点から男性専用車両も作るべきだと思いますか。〔※平等性以外の要素は考えないでお願いします。〕【非混乱変数】

- ①大いに思う…0点
- ②どちらかというと思う…0点
- ③どちらともいえない…1点
- ④どちらかというと思わない…1点
- ⑤全くそう思わない…1点

(E) 学生が好きな異性と2人でご飯を食べに行ったら会計額3000円だった場合、両者の負担額について最も適切だと思うものを選んでください。（食事の量による男女の値段の差などは無視してください）【割り勘変数】

※お互いアルバイトで月に5~6万円程度の収入がある設定です



(F) 【女性の方】あなたは正社員で働いているとします。収入の安定した人と結婚し、仕事を辞めても経済的には困らないという状態になりました。子供はまだ生まれていないとします。あなたはどうしますか。【仕事重視変数:F~Hの回答の合計】

【男性の方】配偶者の女性がこのような状態の時、妻にどうして欲しいですか。あなたの希望に最も近いものをお答えください。

- ①週休2日以下のフルタイム労働をする（正社員など）…3点
- ②ある程度時間にフレキシブルな労働をする（パートなど）…2点
- ③正社員やパートを含むその他の仕事は一切しない…1点

(G) 前の質問の続きです。【仕事重視変数:F~Hの回答の合計】

【女性の方】その後子供が産まれたとします。生まれたばかりでまだ手のかかる時、あなたはどうしますか

【男性の方】妻がこのような状態の時、どうして欲しいですか。あなたの希望に最も近いものをお答えください。

- ①週休2日以下のフルタイム労働をする（正社員など）…3点
- ②ある程度時間にフレキシブルな労働をする（パートなど）…2点
- ③正社員やパートを含むその他の仕事は一切しない…1点

(H) 前の質問の続きです。【仕事重視変数:F~Hの回答の合計】

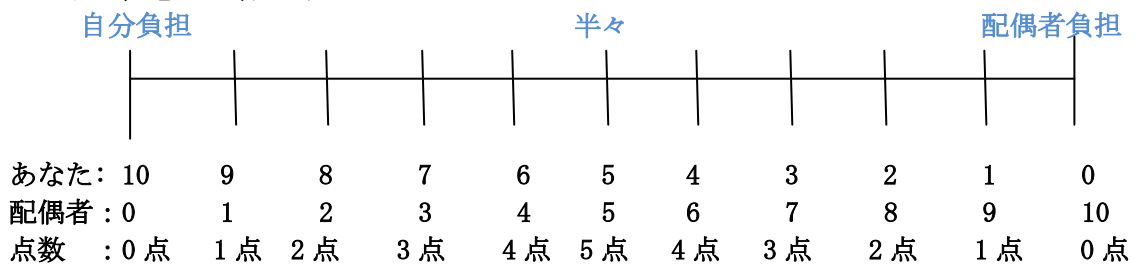
【女性の方】子供が成長し、ある程度手もかからなくなったとします。あなたはどうしますか

【男性の方】妻がこのような状態の時、どうして欲しいですか。あなたの希望に最も近いものをお答えください。

- ①週休2日以下のフルタイム労働をする（正社員など）…3点
- ②ある程度時間にフレキシブルな労働をする（パートなど）…2点
- ③正社員やパートを含むその他の労働は一切しない…1点

(I) 自分と配偶者の育児の負担割合について、あなたの考えに最も近いと思うものを選んでください。

※あなた自身と配偶者の環境（例：労働しているか否か、専業主婦か否か）といったことは別に直感でお答えください。



(J) あなたの性別を教えてください。

- ①男性…1
- ②女性…0

(K) あなたの年齢を教えてください。

- ①10歳～19歳（10代変数 1/その他 0）
- ②20歳～29歳（20代変数 1/その他 0）
- ③30歳～39歳（30代変数 1/その他 0）
- ④40歳～49歳（40代変数 1/その他 0）
- ⑤50歳～

(L) あなたの結婚状態について教えてください。

- ①既婚…1
- ②未婚…0

以上

引用文献

大垣昌夫, 田中沙織, 2014. 行動経済学入門. 有斐閣, 東京.

萩原賢, 福田祐貴, 福田恭子, 水谷文彦, 大垣昌夫, 2010. 住居に対する消費行動と虚栄心の関係性 ―首都圏における高層マンションを事例として―. 慶應義塾大学経済学部大垣昌夫研究会研究グループ論文, 6.